

米国環境保護庁
ワシントン,D.C.20460

大気放射局

2018年2月16日

ENERGY STAR コンピュータ・パートナー又は他の関係者各位

米国環境保護庁(EPA)が ENERGY STAR コンピュータ基準書バージョン 7.0 最終版を関係各位と共有することは喜ばしい。EPAはこの基準改定プロセスに情報を提供した意見に寄与する時間と努力を投資してきた多くの関係者に感謝したい。このバージョン 7.0 要件は 2018 年 11 月 16 日を以て発効する。このレターは新要件の注目点を提供し、移行プロセスを概説する。

バージョン 7.0 仕様書は、市場でトップ性能を有するコンピュータ製品を適合する。ENERGY STAR 適合コンピュータは、標準ノートブックコンピュータよりも平均約 25%も省エネとなる。もし米国で販売されるコンピュータが全て ENERGY STAR 適合であったとするならば、費用節減額は毎年ほぼ 6 億ドルになり、且つ温室ガス放出削減量は 80 億ポンド(lb)、80 万台の車からの温室ガス放出に相当する量を超えるであろう。

EPAはPスコア、出荷時輝度、基本TECレベル、及び発効日に関係する最終草案に対するコメントを受け取った。Pスコア境界は、Pスコア8を有する製品が分類2要件の下で適合するよう、最終版でも訂正された。更に、EPAは出荷時要件を修正したが、修正した用語が市場に甚だしい混乱を引き起こすかもしれないので、出荷時要件は元の文言に修正した。2017年11月14日のメモで提案した基本許容値に対する微調整はそのまま維持した。EPAはこれらの基本許容値をさらに緩和するデータ付きの要求も受け取った。EPAはこのデータを注意深く分析し、追加の会合を開催し、関係者とその要求事項を議論した。結局、このデータはより緩和する必要性を支持しなかった。最後に、発効日はそのまま維持された。現行の適合製品の分析では、製造事業者は今でもバージョン7.0要件を満たす幅広いさまざまな製品を有していることを実証している。更に、11月の発効日により、EPAは改訂版8.0に関しパートナーと共にデータ収集作業を始め、来たるカリフォルニア・エネルギー委員会規制の締切日前に間に合わせることもできる。

バージョン 7.0 移行予定及び次のステップ

EPAは、消費者の期待に沿い、且つ ENERGY STAR ロゴ製品が発効日に新要件を完全に満たすよう、一つの ENERGY STAR バージョンから次のバージョンへスムーズに移行したという望みをパートナーと共有している。これを念頭に置いて、EPAは以下の予定を策定した：

- ・即座に、製造事業者は認証機関(Certification Body : CB)に、製品をバージョン 7.0 要件に適合するよう認証させてよい。
- ・2018年7月2日以降、CBはバージョン 6.1 に対し提出された新製品の認証を停止する指示を出す。しかし現行のバージョン 6.1 に対する適合は、2018年11月16日まで ENERGY STAR 適合の主旨から有効である。

- いかなるコンピュータ製品も、2018年11月16日の時点で、ENERGY STAR ロゴを付けるためにはバージョン 7.0 の要件を満たさなければならない。全てのバージョン 6.1 適合製品は、ENERGY STAR の主旨から無効になり、CB はバージョン 7.0 適合製品モデルだけを EPA に提出することになる。

EPA を代表して、この仕様書改訂プロセスにおいて意見を寄せてくれた全ての関係者に感謝したい。コンピュータの ENERGY STAR 適合と販売においても、みなさまと共に協力して行きたい。

質問又は懸念に関しては、小職 Fogle.Ryan@epa.gov(202-343-9153) 又は John Clinger John.Clinger@icf.com(215-967-9407)に連絡されたい。更にコンピュータ関連の質問に関しては、computers@energystar.govに連絡されたい。ENERGY STAR プログラムの継続支援に関し感謝する。

Ryan Fogle

EPA ENERGY STAR-IT 及びデータセンター製品部門 マネージャー